

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・償却原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

リース資産・・・リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

賞与引当金・・・翌期に支給する賞与のうち、支給対象期間が当期に帰属する支給見込額を計上している。

(4) リース取引の処理方法

① ファイナンス・リース取引

チケットシステム

グループウェア・内部メールサーバ の2件である。

② 重要性の乏しいリース取引については、賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を適用している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2. 会計方針の変更

変更なし。

3. 表示方法の変更

法人税、住民税及び事業税の表示箇所の変更

前年度までは、事業費の「租税公課」として計上していたが、当年度からは、税引前当期一般正味財産増減額の次に「法人税住民税及び事業税」として計上する方法に変更した。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	1,797,175,017	200,117,600	351,965	1,996,940,652
普通預金	202,824,983	234,365	200,000,000	3,059,348
小計	2,000,000,000	200,351,965	200,351,965	2,000,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	94,032,264	8,025,904	11,330,611	90,727,557
周年事業積立金	36,021,689	358	0	36,022,047
小計	130,053,953	8,026,262	11,330,611	126,749,604
合計	2,130,053,953	208,378,227	211,682,576	2,126,749,604

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	1,996,940,652	(1,996,940,652)	(0)	-
普通預金	3,059,348	(3,059,348)	(0)	-
小計	2,000,000,000	(2,000,000,000)	(0)	-
特定資産				
退職給付引当資産	90,727,557	-	-	(90,727,557)
周年事業積立金	36,022,047	(0)	(36,022,047)	-
小計	126,749,604	(0)	(36,022,047)	(90,727,557)
合計	2,126,749,604	(2,000,000,000)	(36,022,047)	(90,727,557)

6. 担保に供している資産

該当するものはない。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
リース資産	2,509,794	2,509,794	0
合計	2,509,794	2,509,794	0

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
(貸倒引当金を直接控除した残額のみを記載した場合)

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	65,397,077	0	65,397,077
合計	65,397,077	0	65,397,077

9. 保証債務等の偶発債務

該当するものはない。

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

科目	帳簿価額	時価	評価損益
第153回利付国債	192,328,687	212,670,800	20,342,113
第159回利付国債	196,260,190	200,194,400	3,934,210
28年度4回北海道公募公債	100,000,000	100,040,000	40,000
千葉県第28回20年公募公債	100,000,000	94,010,000	△ 5,990,000
兵庫県第40回20年公募公債	100,000,000	95,420,000	△ 4,580,000
千葉県第30回20年公募公債	100,000,000	97,050,000	△ 2,950,000
埼玉県第8回15年公募公債	100,000,000	99,350,000	△ 650,000
第328回利付国債	290,127,600	291,885,000	1,757,400
第329回利付国債	209,862,800	212,226,000	2,363,200
第329回利付国債	313,000,000	316,322,495	3,322,495
第147回利付国債	295,361,375	339,188,050	43,826,675
合計	1,996,940,652	2,058,356,745	61,416,093

11. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内容	金額
経常収益への振替額	
基本財産運用益の振替	15,292,920
合計	15,292,920

12. 重要な後発事象

該当する事項はない。